

＼見えにくさの原因を丁寧に評価／

形成外科
専門医が対応

眼瞼下垂

眼瞼下垂症

眼瞼内反症

眼瞼外反症

形成外科領域を幅広く診療してきた形成外科医による眼瞼下垂治療を開始しました。
加齢や先天性疾患によりまぶたが下がり、視野障害や眼精疲労など
日常生活への支障を認める患者さまに対し、診察から手術まで対応可能です。
眼瞼下垂が疑われる患者さまがいましたら、ぜひ当院形成外科へご紹介ください。

当院の治療の特徴

- 眼瞼下垂症の治療は保険適用(日帰り・入院対応)
- 先天性眼瞼下垂にも対応(中学生以上)
- 症状の原因を多角的に評価し、適切な治療をご提案

※当科では保険診療の対象となる手術のみ実施しております。
診察の結果、美容的側面が大きい自費診療での治療が適切と判断された場合には、
当院での対応が難しいことがございます。あらかじめご了承ください。



医師紹介

さじ しほこ
佐治 詩保子 Shihoko Saji

眼瞼下垂症は、まぶたが重い、視野が狭い、額に力が入る、肩こりや頭痛があるなど、日常生活に影響を及ぼすことがあります。

当院では保険診療による眼瞼下垂手術を行っており、患者さま一人ひとりの症状やご希望に応じた治療をご提案しております。

形成外科として、機能改善だけでなく、術後の自然な見た目にも配慮した診療を心がけています。

高齢の患者さまにも安心して受診いただけるよう、丁寧な説明と診察を大切にしております。

まぶたの開けづらさや見えづらさなどでお困りの患者さまがおられましたら、ぜひご紹介ください。

profile

山梨大学卒(2014年卒)
日本形成外科学会 形成外科専門医
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会
乳房再建用エキスパンダー／インプラント責任医師
臨床研修指導医

外来診療案内【形成外科】

毎週水曜・金曜日 午後

- ・初診予約不要(再診予約の方が優先)
- ・紹介状をお持ちの患者さまも受診いただけます

対応可能な症例

- 眼瞼下垂症・眼瞼内反症・眼瞼外反症
- 皮膚腫瘍・皮下腫瘍・軟部腫瘍
- 皮膚悪性腫瘍
- 傷・外傷・熱傷・低温熱傷・化学熱傷
- ケロイド・肥厚性瘢痕・瘢痕拘縮
- 褥瘡・難治性潰瘍
- 顔面骨骨折
- 副耳・耳瘻孔・耳垂裂
- 乳房再建・乳頭形成・副乳
- 陥入爪・巻爪

お問合せ先(地域医療連携室)

電話 / FAX でご紹介ください ※ご不明な点は直接お電話でご相談ください



IMS(イムス)グループ

東戸塚記念病院

〒244-0801 神奈川県横浜市戸塚区品濃町548-7

直通電話・FAX

受付時間

045-825-7970 FAX 045-821-8561

平日8:30~17:30 土曜8:30~13:00